

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894

41

極秘

大臣

参事

参事

参事

参事

参事

極秘

12月28日 大臣参事会談 (第2回)

4:12-29 米谷

12月28日 午後3時より5時まで 午前の会談
12月28日 大臣参事会談 録音のあり。

同席 米谷、ウヰル (最初9.30分は各席同
席 (記録略))

大臣 - 今朝 date をきめたいと申したか
ら、これは 共同声明 念頭に指して (1)

西側共通の利益は 通達完結により、よりよく充
つる。(2) 最も有効に、保障を確保して

X date まで 通達できる、西側の要求は
入る と之を2点にする。重要なのは、

西側の要求、下は、基礎の保障をどうする
に、これを保障する。と之を2点にする (今朝
前記)

GA-1

外務省

程、案件の先かできてから date をきめると
の御意見であったか? 基本的な方法を

明確に之にあれば date を先にきくも
同じことにはなるのではなか

(案件の)

大臣 - 出し合案かできてきたか? 協会の
implicit or explicit assumption は何

大臣 - 意図的に言って、黙りの障がある

大臣 - 案件の合意に達せざるは date 到来
の協会は、日本は米国の条件を forced

to accept されることにはなるのか

大臣 - 実際には yes と云うことになる

大臣 - Can you really put you in that position

大臣 - 文句は、これは自分の苦慮する所である

GA-1

外務省

大 臣 - wording は日本が責任をどこまでとれるかを明かにする必要がある。

大 使 - 日本何れの政府もそのように立つに任を置くことはできぬと思ふ。

米 國 - X date 到来の際、日米両国が了解の旨に不協、日米政府の受諾し

得る五年で通達せざるを得ないこととなるように約束はなし得ない、日米

側も X date 到来の際、米側の通達で通達され、と云う約束は出来ないと思ふ。

大 臣 - いさく治して、更に号に付かれば、待接指の難事は、何の難事

でもなし。

大 使 - 今朝、常にはその難事を感し、と云うこと、これに、上い、と云うこと、

大 臣 - 自航使用に用し、現状とは事、端、個別給にや、方、本、土、の

視得に豊富であると思ふ。

大 使 - これに「本、土、並み」と云うこと、

大 臣 - 形式的に、出り、その協会は、周囲の状況に、視得、すべき、

大 使 - 逆のこと、と云う、今、朝、甲、上、に、本、土、の、朝、野、の、事、

業、の、際、今、ま、は、日、米、政府、の、と、云、う、に、本、土、の、責任、を、その、新、家、positive responsibility を

と、云、う、に、本、土、の、と、云、う、に、今、ま、は、日、米、政府、は、本、土、の、責任、を、と、云、う、に、

た、の、で、は、な、い、か、と、思、は、れ、る、若、し、日、米、改、正、の、自、航、使用、に、用、し、本、土、並、み、を、主、張、せ、

3125. 日本政府が willing and able to
 Take responsibility であることは 米國政府
 に認得 せねばならぬと思ふ。
 日米双方に内閣あり、自分にも答がな
 い。 現に朝鮮半島において 米國は軍隊
 を置いとあり。 日本は 置いとない。 假に
 半島で 1950年程 何となく Ambiguous
 な事態が 発生したとす。 米國は 自己の
 軍隊を 守らなければならぬ。 その際 米
 國が 米軍を 守るのに 日本が veto を持つ
 ことは 米國として 受忍 できない。 韓米協定
 に関し 朝鮮半島の 協会の private under-
 standing は 解 承 知 と思ふか。 之を 中絶し
 及 守 持 協 会。 米國政府は 國內 認得 した

4. 之を 公にする 必要がある。 然し 之を
 公にする ことは 日本側 にとり 支障が
 ありと 思ふ。
 大塚 - その 趣が 去つた 以 前 である。 日本側
 が 「現状通り」 に 踏切つて 保証すると
 云ふ こと なら 一 方 で 片付く こと なら 然し
 互 違 内閣 は 去つた しい。 と 云ふ こと には
 一 口 二 言 といふ 事 あり と思ふ。
 大塚 - その 通り である。 同時に 日本側 が
 踏切ること が 如何に 去つた しい か 考へ する。
 日本 の 様な 大國 が war and peace の 決意
 を 外國に 要する と 云ふ ことは 去つた しい
 7. 日本 側 で 自分 は 快く 日本 に critical
 である こと ではない。

date settingの問題について、自らの範囲
 は date を決めることにより問題の解決
 がより容易になる と言ふことではない
 のではないか ということである。自らは
 は本直に解決の誓がたい。西國を high
 priority で 取組まなければならぬ。
 沖縄問題は できる丈早く 決着させなければ
 ならない。自らは 假に 指図により 喜ぶ
 る 積りである。是れ 静慮して する 意味が なく
 地方に 解決の 妙手は 自らは 持ち ない
 といふ。安全保障と日本だけの問題より
 容易であるか。他の地域 特に朝鮮半島
 が 入つて 来ると 分かる。 前にも 申し
 通り、半島は 日本、本土及び 沖縄 からの

支持なくして 朝鮮半島に 米軍を 維持し
 得ない。 沖縄 通運の ため には、 109、及び
 沖縄に 米軍 基地が あり、 それが 使用し 得る
 と言ふ ことを 米国内で 明らか に しなければ
 ならない。 自らは より 容易な 解決を 提案
 した。 沖縄 通運に ついては、 日本が
 朝鮮半島の 防衛に 関しては Japan stands
 with US である ことを 予め 公に 明らか に
 する ことが 必要である。 日本が 言ふ ことが
 成る ことが どうか は 別 とし、 その 事は
 困難に 感じ ます。
 大臣 - 12月23日の 安全保障委員会 で 話した
 静慮 研究 合同は ~~研究 合同~~ この 種の
 問題を 送る のに 役立つ と 思ふ。

大塚 - 幕僚会同で detail を研究するのはいい
ことと考へるか、ここから基本問題の解決

がなれりと期待することは出来ない。

大臣 - 与梅並り。

大塚 - 今朝 有事の際のみ核を造るとい
う方の説が古いか、核はどの程度何か

細考ありや

大臣 - 米国の考方を驗したい所である
原理も 特殊な核が現に存在 ~~する~~

しといふ形を考へておられるものと推
測する。核製造とに核が量いである

るといふことは絶対必要か、どうかといふ
ことも分らないから今朝 飲んだ訳である

大塚 - 基本的な答は比較的簡單である、何
か特言のものか 絶対必要といふことは言へ

ず、臨時的には 核は太平洋の他地域に
置き 有事に持ちこたといふことは可能であ

るか、問題は その結果 遅延が生じ、抑止力
として 信頼性が弱まるといふことである。又

危機をより悪化させたくない場合には、持ちこた
ないといふ方針を悪化させる といふ問題

あり、要するに 北京 平壤に 与る signal
の問題である。 現実に使用するといふ

ことより、核使用に prepared and capable
であるといふことは抑止力であるといふ

考方である。 12月には ^(沖縄の) 核即ち A-2 B
であるといふ loose and ambiguous な考方

かあるか。A-Bは only one system に過ぎない。沖縄にはその他 航空機を含め、

dual capable の戦略的核の 旨の system がある。ポラリスや ICBM のみでは 相手方

ほどの 運用 1 枚、たらずと 判断 する こと あり。核 全面 戦争 に 至らざる 段階で

使用可能な tactical nuclear capability が あり。各 段階 で 対処し 得る 能力 が あり

ること である。抑止 効果 を 持つ の こと である。米 国 が 直ちに 核 を 使用 する こと が 出来な

い こと である。それ が 相手 に 判ら ない。それ だけ 抑止 力 が reduce される。と いう

事 事は 問題 ではない。

大臣 - 今 新 自衛 使用 の 方 が 核 あり

more fundamental の あり との 御 法 が あり

た と 思 っ たら 如何。

大使 - 申 上 げ たい 運 命 は。核 と 自衛 使用 の 二つ

の 案 には。10 年 ほど は 核 に 関心 が 集中 し 2

あり 自衛 使用 に ついて 充分 深く 考へ たい こと あり。自衛 使用

も 核 と 同様 甚だ かし い 問題 である こと あり。核 と 自衛

使用 を 対 比 し。米 国 から 見ると どちら が より 重要 である と いう こと は 言 っ ない と 思 っ

誤 解 を 与 え ない と すれば 申 込 ない。

大臣 - 重要 な こと である の こと 李 日 の 如 く 日 本 の 防 衛 を 振 っ け たい か 大使 の 留

言 中 は 如何。

大使一名事なし。何れにせよ再び戻って来るので、その際お話しを。本日も同

事をあつたのみで、no solution を offer である。新路線の事はまだ言わないし

新路線も大臣と同じく大いに考へて行かなくてはならない。

大臣 - 長時留申上げたことは考へ造り上げに行くための private and personal

のものとお知らせ。